

15. 雨水管理総合計画の策定（まとめ）

15-1. 雨水管理方針の策定（全市）

本業務で策定した雨水管理方針として、前章の検討結果を再掲する。

■ 検討対象区域

市街化区域と下水道整備区域が概ね一致していること、雨水公共下水道の整備効果が高いことから、検討対象区域は下水道整備計画区域と同じとした（図 15-1）。

■ 整備優先順位

整備優先順位は、浸水被害額の評価軸と重要施設の評価を考慮したリスクマトリクスを用いて設定し、優先的に整備を進める重点地区は沼川、姫城、岳之下の3排水区となった。整備優先順位を整理した雨水管理方針マップを図 15-2 に示す。

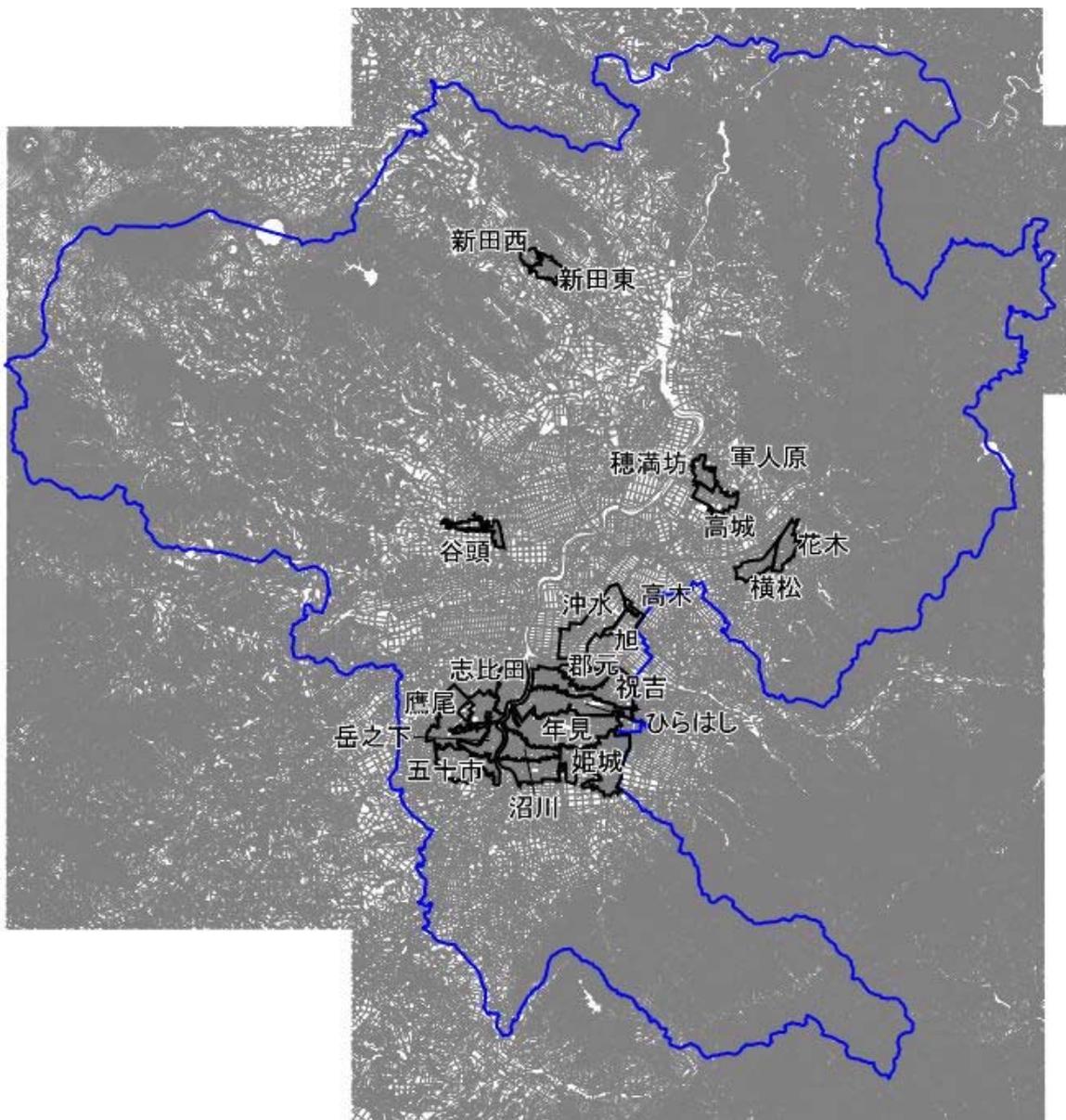


図 15-1 検討対象区域 (再掲)

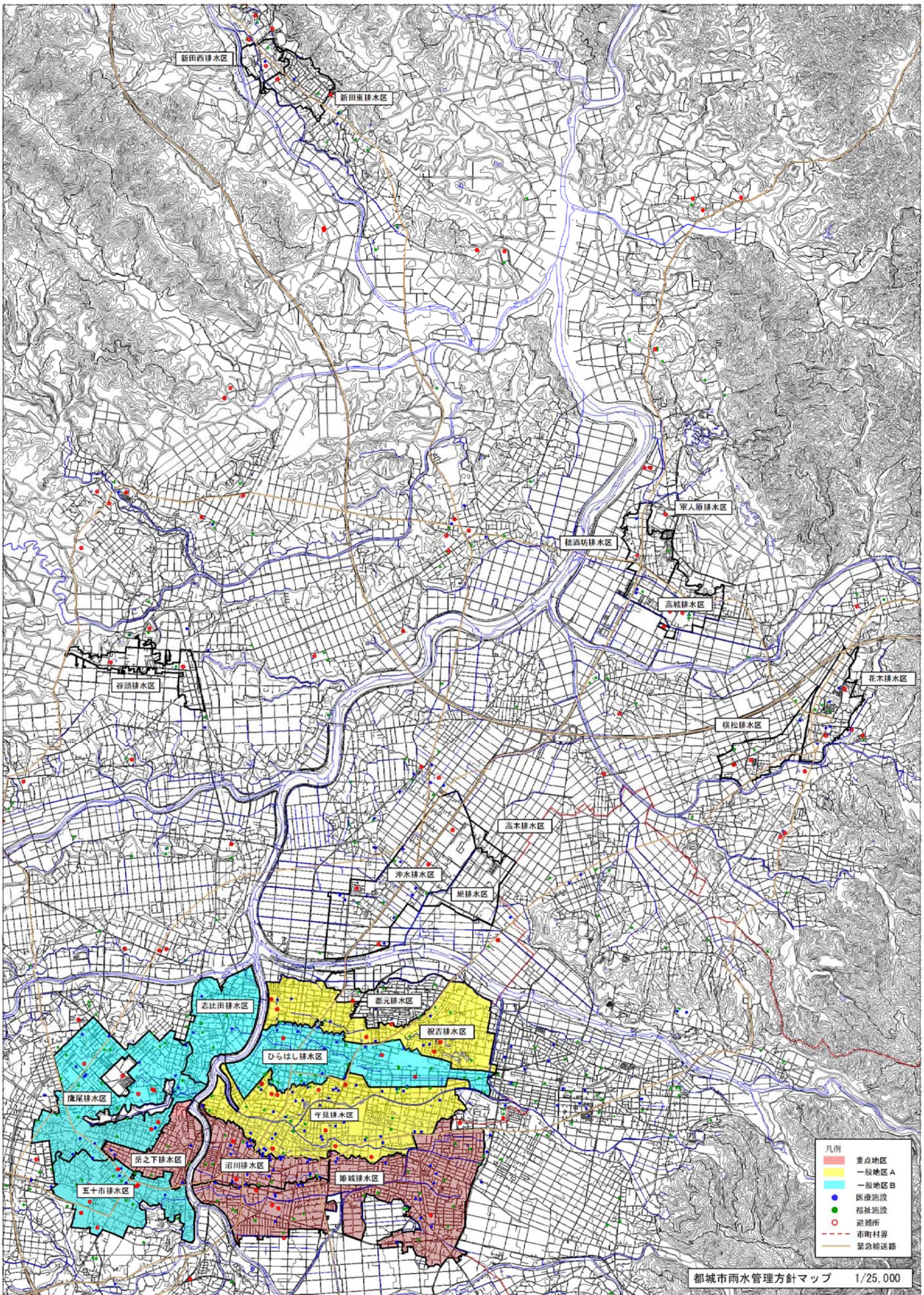


図 15-2 雨水管理方針マップ (再掲)

15-2. 段階的対策計画の策定（岳之下排水区）

15-2-1. 雨水管理総合計画マップの作成

本業務で策定した岳之下排水区の段階的対策計画のまとめとして、対策内容と位置、整備段階を記載した雨水管理号総計画マップを図 15-3 に示す。

表 15-1 段階的対策施設（再掲）

排水区	対策施設	施設諸元	種別	事業費 百万円	段階別事業費 百万円		
					当面	中期	長期
思案橋	移動ポンプ車(既利用)	0.50m ³ /s	継続	-	(活用)		
	ゲートポンプ	0.57m ³ /s	新設	114			114
	雨水調整池	2,300m ³	新設	143			143
	水路改修(鷹尾系統分)	170m	改修	48			48
岳下 第4,第5	調整池	6,400m ³	新設	160	160		
	ゲートポンプ(岳下第4)	0.41m ³ /s	新設	82		82	
	圧力管 (既設を圧力管化)	□1100×1100~1300 ×1300 480m	改修 /新設	125	125		
	接続管	□1200×1100 370m	新設	77	77		
	接続管(圧力管)	□800×800 60m	新設	7	7		
	側溝	□600×600 L=373m □500×500 L=210m	新設	41			41
	水路改修	908m	改修	355			355
岳下第2	圧力管	□800×800 300m	新設	174		174	
	ゲートポンプ	0.67m ³ /s	新設	134		134	
	調整池	1,300m ³	新設	65			65
	水路改修	29m	改修	12			12
合計				1,538	370	390	778

※当面对策、総事業費の合計値のずれは数値丸めのため

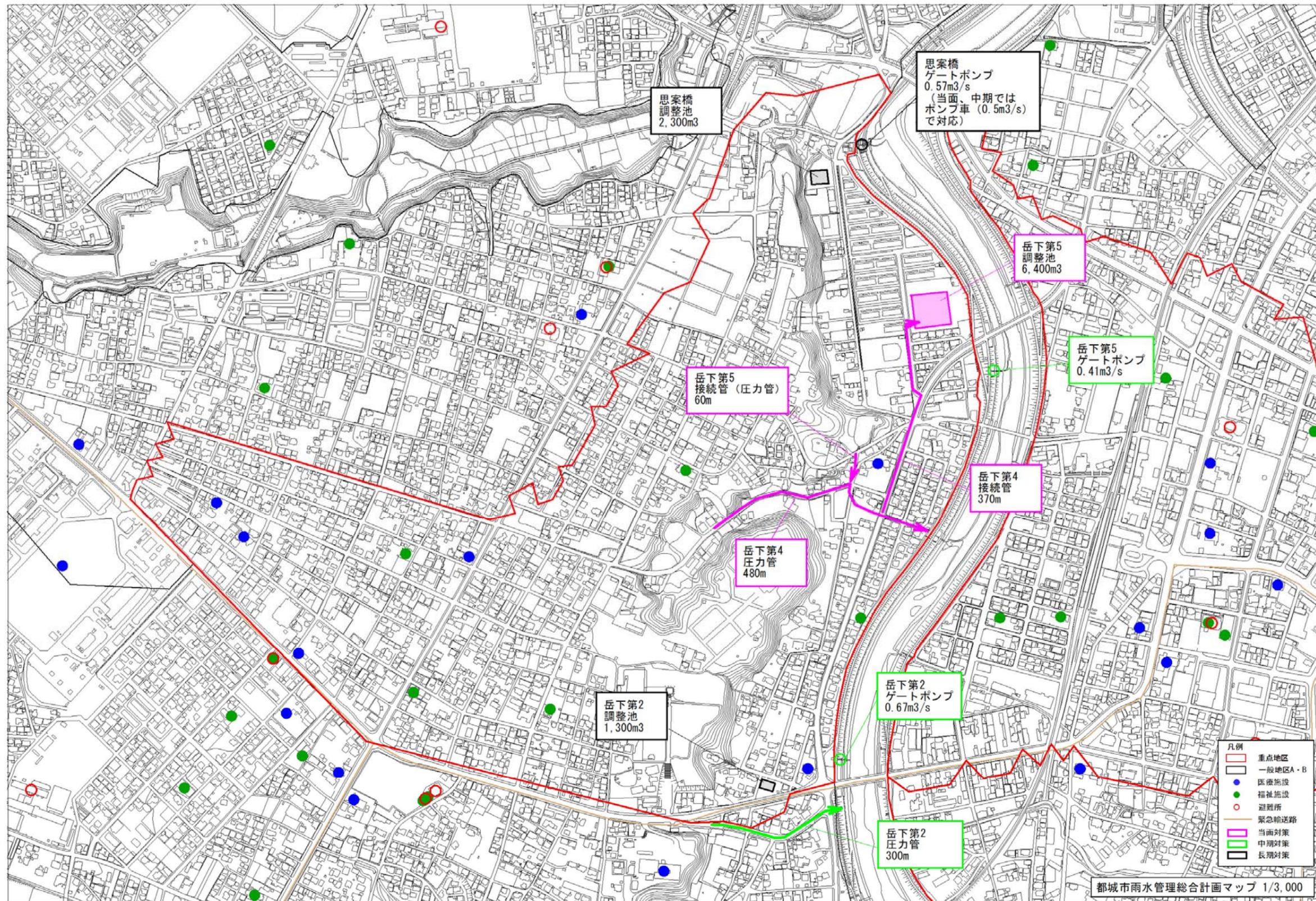


図 15-3 雨水管理総合計画マップ

15-2-2. 今後の対策の進め方

■事業計画への位置づけ

段階的対策計画で策定された事業を下水道事業として事業計画に位置付けていく。最初に当面对策として抽出された施設の位置付けを行い、当面对策施設の効果を確認しながら中期、長期の対策を行っていく。

■関係機関協議

圧力管やゲートポンプの整備を行う場合、樋門の改造が必要となるため、大淀川の河川管理者との協議が必要となる。また、ゲートポンプを整備する場合、河川管理者が提示する放流規制水位にも留意する必要がある。

■他事業との連携

ソフト対策である河川水位周知を進めていく上で、まず、河川水位データを利用するために河川管理者との調整が必要となる。また、住民への周知方法については、市の防災部局と連携することでより効果的な周知方法を検討していく必要がある。